



Nursing School of Fukushima

福島看護専門学校

SCHOOL GUIDE



# 生命の尊厳

## 本校の教育理念

本学は地域で生活している人々に視点をおき、地域の保健・医療・福祉の充実を図るための医療チームの一員としてその役割を担っていくものである。

「生命の尊厳」と「人権」を基盤に、看護師として必要な知識・技術・態度の習得をし、広い視野と柔軟な思考・豊かな感性と創造性を育み、倫理観と探究心を持ち、自ら判断し行動できる看護師を育成する。

## 教育目的

看護に関する専門的基礎知識・技術・態度を習得し、地域で生活している人々の保健・医療・福祉の充実・発展に寄与できる看護師を育成する

## 学校の沿革

大正 2年 私立産婆看護婦学校(福島刀圭会)  
大正 4年 社団法人組織認可(文部大臣)  
昭和 3年 看護科福島県指定  
昭和 5年 産婆本科内務省指定  
昭和27年 福島准看護婦養成所として開校  
平成19年 4月 福島看護専門学校開校



## GOAL1

生命・人権を尊び、人々の健康と環境との相互作用及び心身相関の観点から理解する

## GOAL2

人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された存在として、幅広く理解する

## GOAL3

人々の多様な価値観を認識し、専門職業人としての共感的態度及び倫理に基づいた行動ができる

# 授業科目及び単位・時間数

分野	教育内容	科目	単位	時間	分野	教育内容	科目	単位	時間	
基礎分野	科学的思考の基盤	物理学	1	30	専門	成人看護学	成人看護学概論	1	30	
		論理学	1	30			成人看護学方法論Ⅰ	1	30	
		情報科学	1	30			成人看護学方法論Ⅱ	1	30	
	人間と人間生活の理解	社会学	1	30			成人看護学方法論Ⅲ	1	30	
		心理学	1	30			成人看護学方法論Ⅳ	1	30	
		教育論	1	30		成人看護学方法論Ⅴ	1	30		
		人間関係論	1	30		老年看護学	老年看護学概論	1	30	
		倫理学	1	30			老年看護学方法論Ⅰ	1	30	
		英語Ⅰ	1	30			老年看護学方法論Ⅱ	1	30	
		英語Ⅱ	1	30		老年看護学方法論Ⅲ	1	15		
	体育	1	30	小児看護学		小児看護学概論	1	30		
	保健体育	1	15			小児看護学方法論Ⅰ	1	30		
	地域の環境	1	30			小児看護学方法論Ⅱ	1	30		
小計		13	375	小児看護学方法論Ⅲ	1	15				
専門基礎分野	人体の構造と機能	生体機能学Ⅰ	2	60	専門	母性看護学	母性看護学概論	1	30	
		生体機能学Ⅱ	1	30			母性看護学方法論Ⅰ	1	30	
		生化学	2	30			母性看護学方法論Ⅱ	1	30	
	疾病の成り立ちと回復の促進	微生物学	1	30		母性看護学方法論Ⅲ	1	15		
		栄養と生活	1	30		精神看護学	精神看護学概論	1	30	
		薬理学	1	30			精神看護学方法論Ⅰ	1	30	
		疾病論Ⅰ	1	15			精神看護学方法論Ⅱ	1	15	
		疾病論Ⅱ	1	30		精神看護学方法論Ⅲ	1	30		
		疾病論Ⅲ	1	15		臨地実習				
		疾病論Ⅳ	1	15		成人看護学	成人看護学実習Ⅰ	2	90	
		疾病論Ⅴ	1	15			成人看護学実習Ⅱ	2	90	
		疾病論Ⅵ	1	30			成人看護学実習Ⅲ	2	90	
		疾病論Ⅶ	1	30		老年看護学	老年看護学実習Ⅰ	1	45	
	疾病論Ⅷ	1	15	老年看護学実習Ⅱ	3		135			
	疾病論Ⅸ	1	30	小児看護学	小児看護学実習Ⅰ	1	45			
	健康支援と社会保障制度	総合医療論	2		30	小児看護学実習Ⅱ	1	45		
		地域保健論	2	30	母性看護学	母性看護学実習	2	90		
		社会福祉論	1	30	精神看護学	精神看護学実習	2	90		
		関係法規	1	15	小計		38	1,320		
	小計		23	510	総合分野	在宅看護論	在宅看護概論	1	15	
	専門基礎分野Ⅰ	基礎看護学	基礎看護学概論	1			30	在宅看護方法論Ⅰ	1	30
			基礎看護学方法論Ⅰ	1			30	在宅看護方法論Ⅱ	1	15
			基礎看護学方法論Ⅱ	1			30	在宅看護方法論Ⅲ	1	30
基礎看護学方法論Ⅲ			1	30		看護の統合と実践	看護管理	1	30	
基礎看護学方法論Ⅳ			1	30			医療安全	1	30	
基礎看護学方法論Ⅴ			1	30			災害看護	1	15	
基礎看護学方法論Ⅵ			1	30			救急医療	1	15	
基礎看護学方法論Ⅶ			1	30		臨地実習				
基礎看護学方法論Ⅷ			1	15		在宅看護論	在宅看護論実習	2	90	
基礎看護学方法論Ⅸ		1	15	看護の統合と実践実習		統合実習	2	90		
基礎看護学方法論Ⅹ	1	30	小計			12	360			
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	45	小計						
	基礎看護学実習Ⅱ	2	90			合計		100	3,000	
小計		14	435							

# 年間スケジュール



## APRIL

● 入学式



● 新入生歓迎会



● 野外研修



● 健康診断



## MAY

● 研修旅行(3年)



## JUNE

● 美術・音楽鑑賞



## JULY

● オープンキャンパス



## AUGUST

● わらじまつり参加



# 学校の年間行事予定

## SEPTEMBER

### ●美術・音楽鑑賞



### ●スポーツ大会



### ●防災訓練



## OCTOBER

### ●赤い羽根共同募金



### ●戴帽式



### ●文化祭(3年に一度公開)

## NOVEMBER

## DECEMBER

### ●ケーススタディー発表(3年)

### ●クリスマス会



## JANUARY

## FEBRUARY

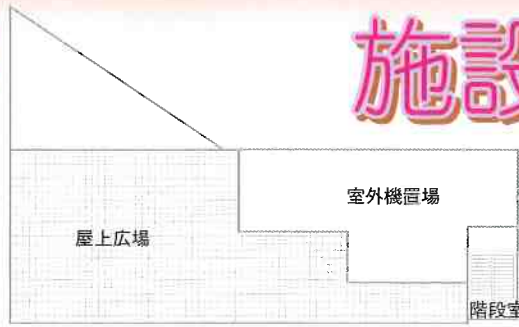
### ●予餞会

## MARCH

### ●卒業式

# 施設・校内配置

RF

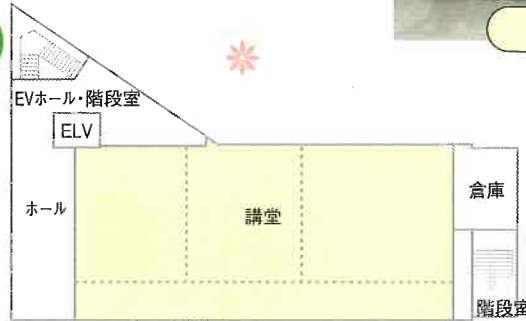


屋上

6F 相談室



6F



6F 講堂

5F



5F 調理室

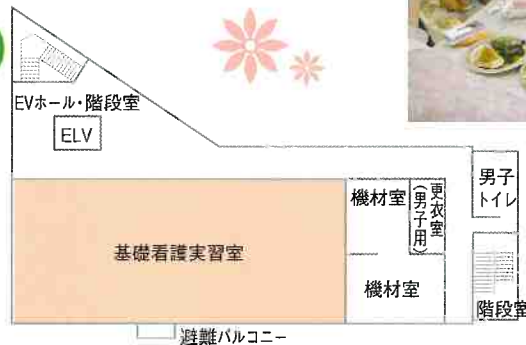
5F 母子実習室



5F 在宅実習室

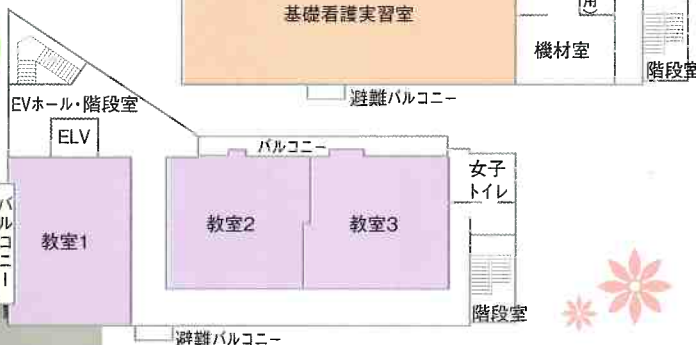


4F



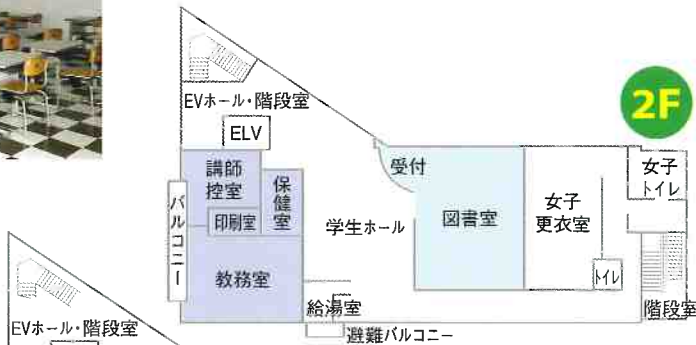
4F 基礎実習室

3F



3F 教室

2F

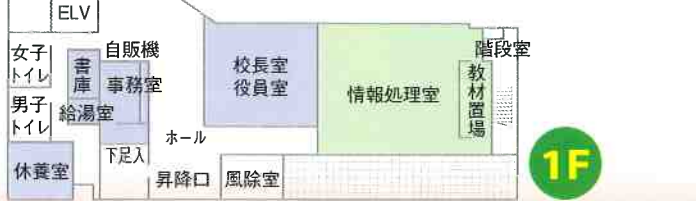


2F 図書室

2F 標本模型



1F



1F 情報処理室

# school information

課程及び修業年限	○医療専門課程 看護学科 3年(全日制)
学生定員	○入学定員40名 総定数120名
受験資格	○高等学校を卒業した者、または卒業見込みの者 ○高等学校卒業者と同等以上の学力があると認められる者
学期	○前期 4月1日より9月30日まで ○後期 10月1日より3月31日まで
授業時間	○1時限 9:00~10:30 ○2時限 10:45~12:15 ○3時限 13:15~14:45 ○4時限 15:00~16:30
学費等	○入学検定料 30,000円 受験時納入 ○入学金 300,000円 入学手続期間中 ○授業料 700,000円 (年額)前期4月納入 後期10月納入 ○実習費 100,000円 (年額)前期4月納入 後期10月納入 ○施設設備費 300,000円 入学手続期間中 ○その他 【実費】 教科書代、制服代、白衣代、シューズ代、保険代、 健康診断料(一部)、国家試験必要経費、 その他必要経費
就学資金	○福島県保健師等修学資金制度 ○独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度 ○その他 民間病院施設の奨学金制度
その他	○寮はありませんが、近くのアパート等のご相談に応じます。
募集要項請求方法	学校窓口もしくは郵便。郵便で請求の場合は郵便番号、住所、氏名を明記し、200円切手を貼付した返信用封筒(角形2号)と500円の郵便小為替を同封し学校まで。

## 主な実習施設

総合病院福島赤十字病院	あづま脳神経外科病院	福島医療生協わたり病院
北福島医療センター	大原総合病院附属大原医療センター	社会保険二本松病院
医療法人一陽会病院	大原総合病院附属清水病院	セイントクリニック
老年看護施設	・プライムケア桃花林 ・にじのまち ・はなひらの ・まちなか宝生園 ・はなしのぶ ・ファミリー ・生愛会 ・ケアフォーラムあづま	
訪問看護ステーション施設	・ほばら訪問看護ステーション ・訪問看護さくらみずステーション ・大原訪問看護ステーション ・ひまわり訪問看護ステーション	
保育施設	・福島厚生会すばる保育園 ・福島ふたば保育園 ・エミール幼稚園	
行政施設	・福島市保健福祉センター ・伊達市保健福祉センター ・福島県県北保健福祉事務所 ・福島県精神保健福祉センター ・福島県立大笹生養護学校	

### 卒業後の資格

- 看護師国家試験受験資格
- 保健師・助産師学校及び養護教諭養成課程の受験資格
- 大学編入資格
- 医療専門課程専門士の称号付与



# 交通 access



福島駅東口より北へ300m 徒歩3分

## 福島看護専門学校

〒960-8031 福島県福島市栄町1番37号

Tel.024-525-8770

Fax.024-525-8771

URL <http://www.fukushima-kango.jp/>

E-mail [info@fukushima-kango.jp](mailto:info@fukushima-kango.jp)